

福島県より9家族31名が来島



発行者
NPO 法人いけま福
祉支援センター
電話：75-2870

先月28日から4泊5日の日程で、福島県の小さな子どもたちとその家族（9家族31名）が来島し、池間島での「保養」が行われました。この取り組みは、うむい宮古島保養プロジェクト満月実行委員会が、東日本大震災で被災した福島の子どもたちを自然豊かな宮古島に招待



し、心身ともにリフレッシュしてもらおうと取り組んでいるプロジェクトです。3年目を迎える今年は、池間島で民泊の受け入れをしている民家さんの協力で、池間島での保養の受け入れが実現しました。池間島滞在中は、6軒の民家に分かれて宿泊し、日中は毎日海で泳いだり、池間島の学童保育の子とも達と一緒に遊んだり、家族でゆっくろ観光をしたりと、自由に楽しんでい



おもいきり遊ぶことで、体内の放射線物質を排出し、病気になるリスクを減らすことができるそうです。今回の保養をきっかけに、福島の方々と池間島との交流を深め、支援の輪を広げていければと思います。



池間島の海水でとうふづくりにも挑戦しました



交流会の最後は全員でクイチャー

たようです。29日には、離島振興総合センターにて交流会が開かれ、島の料理や余興などを楽しみました。震災から4年が過ぎた現在でも、福島では福島原発の影響で放射線量を気にして屋外で子供たちを自由に遊ばせることができなかったり、食べものの産地や、子ども達の健康状態などに不安を抱えながら生活されているそうです。「保養」では、一時的にでも福島を離れ、放射能の心配のない場所でおもいきり遊ぶことで、体内の放射線物質を排出し、病気になるリスクを減らすことができるそうです。今回の保養をきっかけに、福島の方々と池間島との交流を深め、支援の輪を広げていければと思います。

シマ学校＆バンチの「ちまそう・2」

先月25日、第15回目となるシマ学校が開催されました。前回に引き続き、池間島でカツオ漁が盛んだった頃に家庭でよく作られていた、懐かしい「バンチのちまそう」を作ってみようと企画されました。今回は、カツオのビキバラン(白子)をつかったかまぼこ作りに挑戦。筋を取ったハランをつぶして、片栗粉や小麦粉を加えて練り、蒸したり、油で揚げたりして仕上げました。こってりとしたハランは、油であげると鶏肉のように食べごたえがあり、子ども達にも好評でした。



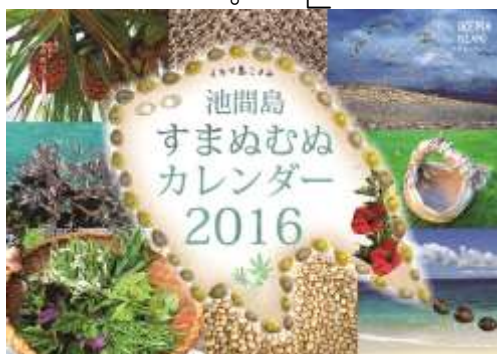
ジューゴヤまじり今年も開催

昨年、500数年ぶりに復活した十五夜の催し「ちまそうちまじり」を今年も開催します。今年は、9月27日(日)が旧暦8月15日にあたります。中秋の名月が昇るころ、手作りの提灯を持って水浜広場にお集まりください。今年も、たくさんのおちまじりで会場を彩りたいと思います。

イキつ島いよみ

すまぬむぬかカレンダー2016

池間島のオリジナルカレンダー、2016年は、海の生きものだけでなく、「野草」、「島の生きもの」、「鳥」、「民具」、「漁具」、「樹木」など、月ごとにテーマを設け、それぞれ1枚の写真で紹介しています。昨年までとはまたひと味違った、池間島の「すまぬむぬ(=島のもの)」の図鑑のようなカレンダーができました。今年もミャークツツの期間中、特別価格(500円)で販売を予定しています。



地震・津波避難訓練を実施します

9月の防災の日を前に、池間島全島民(自力で移動できる方)を対象とした地震・津波避難訓練が開催されます。**8月29日(土)10時に防災無線で緊急地震速報が放送されます**ので、各自避難経路の安全を確認しながら、避難場所である広場に避難してください。避難場所において、美味しい非常食の試食と津波についての講話もあります。ぜひご参加下さい。

防災センター着工はじまる

先月30日から、池間島防災センターの工期が開始しました。現在は現場での測量や磁気探査、整地等をおこなっていますが、来年2月いっぱいには完成予定とのことです。

今月の予定

- 8月20日(木) タナバタ
- 8月20日(木) 14時〜シマ学校
- 8月29日(土) 10時〜 全島避難訓練
- 9月12日(土) 池間幼小中学校運動会
- 9月14日(月) 19時〜第4回池間島大演芸会
- 9月15日〜17日 ミャークツツ
- 9月21日(月) 敬老会
- 9月27日(日) 十五夜ちまじりまつり